

昌一金属支部活動報告

原発見学ツアーを取り組みました

四月二十三日に支部で大飯原発・高浜原発見学ツアーに取り組みました。

今回のツアーを案内していただく京都府職労舞鶴支部の長岡支部長と中西書記長と合流するために待ち合わせ場所に向かいました。

一〇時半に無事合流することができました。すぐ隣に「エルガイアおい」という関電の施設を見学。そこは大飯と高浜の原発を操縦するコンピューター室のダミーがあり、「普段は関電の人達が訓練をしています」と近く

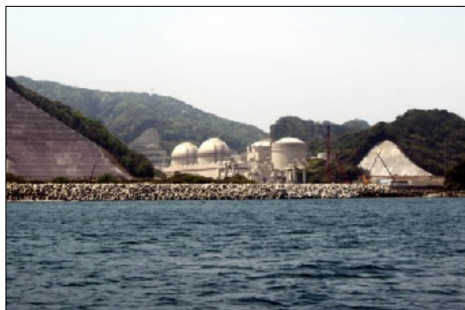
にいた警備員さんが教えてくれました。

次に小浜湾を一周する遊覧船に乗りました。海と風景を見ながら遊覧していると大飯原発が見えてきました。防波堤が低く見え、津波がくると怖いなと思いました。少し



離れてはいましたがテレビなどで見る建物やあと

思いました。辺りの海では釣りを楽しんだりオートキャンプ場などがあり、プライベートで来たいと思いました。船を下り昼食をとるため近くにある道の駅で海鮮丼を食べま



海上から見た大飯原発

した。新鮮でとても美味しかったです。

次に陸から大飯原発を見るため十五分ぐらい車で移動しました。途中には中西さんが通っていた小学校があり、その建物は被曝しないよう作られているのですが備蓄の食糧は三日しかもたないと教えてくれました。そこから少し車を走らせると大飯原発に行くトンネルの前に着きました。トンネルの前には柵がはられていて一般の人はそれ以上は行けなくなっていました。建物は見えなかったのですが、施設の中からはダンプカーが次々と出入りしていて何か工事

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！



高浜原発のゲート前にて

をしているようでした。

次にプレパーク大飯という運動公園に行きました。そこは原発を作った時に出土した土砂を埋め立てて作られた施設で、野球、サッカー、テニス、プールなどの施設がありとても広い公園でした。

次に高浜原発へ向かいました。高浜原発は車から見え大飯原発よりも間

近で見えたからかとても迫力がありました。海から冷却水をくみあげている所はダムのような感じに見えました。こちらも頻繁にダンプカーが出入りしていました。

次に舞鶴赤レンガパークに行きました。そこは旧海軍の施設跡地で博物館や記念館があり、赤レンガ造りの歴史を感じさせる建物で、なぜか癒されるなあと思いました。近くには海上自衛隊舞鶴航空基地があり自衛艦が何隻か泊まっています。

次に京都府職労舞鶴支部の組合事務所



で勉強会をしました。舞鶴市は原発から三〇キロ圏内に入っていて、事故がおきてしまうと六〇キロ圏内には京都市もスッポリ入ってしまうと説明がありました。舞鶴市の人口は減り続けているそうです。長岡さんが原発に反対しているのは、事故がおこったら様々な所で働いてる人が被曝してしまう、そのの家族も被曝してしまうからあかんのだと話されていました。

その後、交流会です。

寿司や海鮮料理を食べながら案内をしてくださった長岡さんと中西さんとの交流を深めました。

今回、大飯原発・高浜原発を見て私がわかったことは、原発のある地域で働く人達も原発は怖い、被曝するのは怖いとわかっているけど、生きていくために、ご飯を食べるために仕方がないと思って働いてるのだということです。

私も大阪に原発があったらどうしていただろうと考えさせられるツアーでした。

昌一金属支部 N